

2018年11月21日

2018年IEEE広島支部活動報告

I. 総会

2018年1月31日（水）（於 ホテル広島ガーデンパレス）

[開催済]

II. 講演会など

A. 主催講演会

A-1) 特別講演会（2018/1/31 総会終了後、於 ホテル広島ガーデンパレス）

[開催済]

題目：コンピュータがもたらしたもの

講演者：平川 正人 氏（島根大学 教授）

参加者：9名（内IEEE会員9名）

A-2) 講演会（2018/4/17, 於 岡山大学）

[開催済]

題目：enPiT2-Security 情報セキュリティ分野の実践的人材育成コース Basic SecCap の取組みについて

講演者：野上 保之 氏（岡山大学大学院自然科学研究科 教授）

参加者：10名（内IEEE会員8名）

A-3) 学生向け講演会（2018/5/26, 於 鳥取大学）

[開催済]

題目：学生シンポジウム運営で何を獲られるかを考える

講演者：堀田 昌志 氏（山口大学 准教授）

参加者：37名（内IEEE会員10名）

A-4) 講演会（2018年8月8日, 於 鳥取大学）

[開催済]

題目：安全・安心で豊かな社会を支える顔認証技術

講演者：今岡 仁 氏（NECバイオメトリクス研究所）

参加者：34名（内IEEE会員7名）

A-5) 講演会（2018/11/17, 於 鳥取大学）

[開催済]

題目：定量化で変える医療福祉システム

講演者：櫛田 大輔 氏（鳥取大学大学院工学研究科 准教授）

参加者：52名（内IEEE会員20名）

B. 共催・後援・協賛講演会, 国際会議など

[共催]

B-1) 講演会（2018/6/14, 於 広島工業大学）

[開催済]

題目：From Reversible Functions to Quantum Computers

講演者：Prof. Martin Lukac (Nazarbayev University, Kazakhstan)

参加者：35名（内IEEE会員5名）

[後援]

B-2) 国際会議

[開催済]

会議名：国際ナノデバイステクノロジーワークショップ 2018 (IWNT 2018)

開催日：2018年3月2日

開催場所：広島大学

参加者：100名（内IEEE会員30名）

[協賛]

B-3) 国際会議

[開催済]

会議名：International Symposium on Multimedia and Communication Technology (ISMAC 2018)

開催日：2018年8月29～31日

開催場所：鳥取県立生涯学習センター

参加者：48名（内IEEE会員28名）

C. 他学会への後援

C-1) MWP Symposium（電子情報通信学会マイクロ波・ミリ波フォトンクス研究専門委員会）

開催日：2018年8月6～7日

開催場所：くにびきメッセ（島根県松江市）

参加者数：55名（内IEEE会員21名）

C-2) フレッシュITあわ〜ど2018（電子情報通信学会中国支部）

開催日：2018年10月27日

開催場所：広島市立大学

参加者：30名（内IEEE会員10名）

III. 第20回IEEE広島支部学生シンポジウム（HISS）

[開催済]

開催日：2018年11月17～18日（土日）

開催場所：鳥取大学

参加者：のべ280名（2日間の累計数・内IEEE会員のべ85名）

IV. IEEE広島支部設立20周年記念シンポジウム

[開催済]

開催日：2018年11月16日（金）

開催場所：鳥取大学

参加者：43名（内IEEE会員33名）

企画

- Japan Council 特別講演：津田 俊隆 様（早稲田大学、IEEE Japan Council Chair）
- 広島支部20年の歩み：広島支部歴代支部長（7名）
- 基調講演：野上 保之 先生（岡山大学）
- Student Branch 招待講演：西川 慧 氏（山口大学、第19回HISS最優秀研究賞受賞者）
- Women in Engineering 招待講演：相田 美砂子 先生（広島大学）
- Industrial Professional 招待講演：青砥 なほみ 様（マイクロンメモリジャパン合同会社）
- SMC Hiroshima Chapter 招待講演：市村 匠 先生（県立広島大学）

V. 理事会

第1回 2018/4/17

於 岡山大学

[開催済]

第2回 2018/5/26

於 鳥取大学

[開催済]

第3回 2018/9/15

於 広島市立大学サテライトキャンパス

[開催済]

第4回 2018/11/17

於 鳥取大学

[開催済]

VI. SYWL関連活動

A. Hiroshima Section Student Branch (SSB) の新設

設立（承認日）：2018年8月23日

大学：鳥取大学・島根大学（共同）

Counselor：横田 孝義 教授（鳥取大学大学院工学研究科）

参加学生：13名（鳥取大学10名、島根大学3名）

B. SSBキックオフイベント

[開催済]

開催日：2018年10月7-8日（日月）

開催場所：ホテル大山 しろがね（鳥取県西伯郡）

参加者：10名（教員3名、学生7名）

C. IEEE WIE International Leadreship Summit 2018 Tokyo（11月9-10日，於 芝浦工業大学）

への参加者派遣

VII. その他

A. 広島支部2019-2020年役員選挙の実施

B. IEEE会員数増に向けての検討

[Membership Development Committee]



会員数増加および維持の貢献に対して、IEEE本部より「2018 Outstanding Section Membership Recruitment and Retention Performance」の承認を獲得。ゴールドメダルはR10で15セクションのみ。

C. IEEE会員のみを対象とした表彰の検討

[Award Committee]

D. Women in Engineeringの設立に向けての検討

[Women in Engineering Committee]

E. 関連学会開催講演会や研究会等との協賛・後援活動の活性化

他学会の中国支部に向けてプロモーションを実施

F. IEEE広島支部学生シンポジウムの他支部との連携強化

2018年11月21日

2018年IEEE広島支部会計報告(年度末想定)

【収入】

(単位: 円)

項目	予算	実績(年度末想定)	備考
繰越金	1,336,049	1,336,049	
Section Assessment from IEEE	1,064,500	1,053,206	(予算) US\$9,700, 為替110.00円, 手数料2,500円を想定 (実績) US\$9,785.93, 為替107.88円, 手数料2,500円
Section Rebate	492,500	468,449	(予算) US\$4,500.00, 為替110.00円, 手数料2,500円を想定 (実績) US\$4307.6, 為替109.33円, 手数料2,500円
2017 Voting Incentive	0	28,679	US\$300, 為替103.93円, 手数料2,500円 R10 Voting Incentive (2017年度の広島支部内投票率の高さがR10内で2位になったことへのボーナスとして300ドル振り込まれた)
支部設立20周年記念イベント支援	300,000	300,000	設立20周年記念イベント実施のためJC旧東京支部積立金を申請(送金前のため総定額)
JC Section 支援費	100,000	67,416	広島支部Student Branchキックオフミーティング開催支援
		0	HISS運営補助支援(未申請)
Student Rebate	6,300	6,300	Yamaguchi Student Branch (予算)US\$80.0, 為替110.00円, 手数料2,500円を想定 (実績)送金前のため想定額
利息	100	12	
HISS繰越金の繰入	2,000	1,000	20thHISS繰越金を繰入(総定額)
財団からHISSへの助成金	500,000	550,000	支部にて受取分(送金前のため総定額)
支部会計 小計	3,801,449	3,811,111	
20th HISS会計 小計 (支部会計とは別会計)	750,000	687,912	支部からの支援費, および支部にて受取分の財団からHISSへの助成金を除いた, HISSにおける収入の総定額(全体額は1,617,995円)
支部会計・HISS会計 合計	4,551,449	4,499,023	

【支出】

(単位: 円)

項目	予算	実績(年度末想定)	備考
Section Assessment for IEEE JC	928,290	915,964	JCへ上納(手数料648円) 13%還元(137,242円)
Chapter Rebate for SMC28	30,250	30,065	(予算) \$275.00, 為替110円 (実績) \$275.00, 為替109.33円
Student Rebate	12,649	12,649	2017年分(6,349円)および2018年分(6,300円)のStudent RebateをYamaguchi Student Branchに送金(2018年分は総定額)
総会及び理事会開催費	150,000	141,600	54,600 2018年総会会場費(広島ガーデンパレス)
			17,000 2018年総会懇親会補助費(参加者6名×2000円補助金+招待1名5000円=17000円の支出)
			24,000 第1回理事会技術討論会食事補助費(参加者9名×2000円補助+招待1名6000円=24000円の支出)
			30,000 第2回理事会技術討論会食事補助費(参加者9名×2000円補助+招待2名6000円×2=30000円の支出)
			16,000 第3回理事会技術討論会食事補助費(参加者8名×2000円=16000円の支出)

講演会開催費 (謝金・交通費)	200,000	263,372	31,340	第2回理事会(堀田先生)
			18,849	共催講演会謝金(Lukac先生)源泉徴収含む
			179,773	支部設立20周年記念シンポジウム講演者旅費(7名)
			33,410	支部設立20周年記念シンポジウム講演者謝金(2名)源泉徴収含む
支部事業費	500,000	712,566	5,000	19th HISS功労賞(前年度に支給漏れがあったため、今年度支給)
			16,840	第1回理事会旅費補助(1名)
			61,200	第2回理事会旅費補助(2名)
			49,040	第3回理事会旅費補助(3名)
			111,024	支部20周年記念品(置き時計)作成費
			20,000	国際会議ISM2018の協賛金
			12,300	8/8開催主催講演会・技術討論会食費補助費(講師1名招待6,300円+支部会員3名×2,000円補助=12,300円の支出)
			10,000	国際会議発表支援(鳥取大学学生1名)図書カード1万円
			134,832	広島支部Student Branchキックオフミーティング開催費
			239,600	支部設立20周年記念シンポジウム懇親会・昼食関連経費(懇親会会場送迎含)
郵送費	10,000		43,730	IEEE WIE ILS2018 in Tokyo 理事派遣旅費
			9,000	国内会議発表支援(鳥取大学学生3名)3000円図書カード×3名
雑費	100,000	90,312	2,550	書類等の郵送
			7,992	送金手数料
			21,360	Student Branch用の印鑑作成費
			39,960	支部の旗作成費
			4,124	支部設立20周年記念シンポジウム印刷費(ポスター・垂れ幕)
			6,682	支部設立20周年記念シンポジウムアルバイト雇用(源泉徴収含む)
			8,940	支部功労賞楯購入
予備費	1,070,260		1,254	支部功労賞額縁購入
			711,950	次年繰越予定
HISS運営補助支援費	800,000	930,083	1,963	19th HISS繰越金
			378,120	20th HISS支援費
			550,000	財団助成金(送金前のため総定額)
支部会計 小計	3,801,449	3,811,111		
20th HISS会計 小計 (支部会計とは別会計)	750,000	687,912		支部からの支援費, および支部にて受取分の財団からHISSへの助成金を除いた, HISSにおける支出の総定額(全体額は1,617,995円)
支部会計・HISS会計 合計	4,551,449	4,499,023		

2018年11月21日

2019年IEEE広島支部活動計画

I. 総会

2019年1月xx日（○）（於 ホテル広島ガーデンパレス）

議題：

- 2019-2020年支部役員および新理事の投票結果報告
- 2018年事業報告及び会計報告
- 2018年SMCセクションチャプター報告
- 2019年事業計画及び予算案
- その他

表彰：

- 2018年功績賞贈呈
- 第20回IEEE広島支部学生シンポジウムHISS各賞表彰

II. 事業案

- | | |
|--|--------------------|
| A. 特別講演会（総会終了後） | 1回 |
| 堀田 昌志 氏（山口大学 准教授） | |
| B. 共催・後援・協賛講演会，国際会議など | 主催：5回，協賛・共催・後援等：4回 |
| C. IEEE広島支部学生シンポジウム（HISS，於 岡山） | 1回 |
| D. 学生員支援や支部会員へのサービス活性化 | |
| E. Society Chapterや学生会の充実 | |
| F. Senior Member，FellowへのMembership Upgradeの推進 | |

III. 理事会

- 第1回 活動計画，学生シンポジウムの準備について 他
- 第2回 学生シンポジウムの準備について 他
- 第3回 会員支援，支部活動活性化，学生シンポジウムの準備について 他
- 第4回 支部活動活性化と2020年度活動計画策定について 他

IV. その他

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| A. IEEE会員数増に向けての検討 | [Membership Development Committee] |
| B. IEEE会員のみを対象とした表彰の検討 | [Award Committee] |
| C. Women in Engineeringの設立に向けての検討 | [Women in Engineering Committee] |
| D. 関連学会開催講演会や研究会等との協賛・後援活動の活性化 | |
| E. IEEE広島支部学生シンポジウムの他支部との連携強化 | |

2018年11月21日

2019年IEEE広島支部予算案

【収入】

(単位：円)

項目	2018年 (年度末想定)	2019年 (予算案)	備考
繰越金	1,336,049	711,950	
Section Assessment from IEEE	1,053,206	1,075,500	(実績) US\$9,785.93, 為替107.88円, 手数料2,500円 (2019年) US\$9,800, 為替110.00円, 手数料2,500円を想定
Section Rebate	468,449	481,500	(実績) US\$4307.6, 為替109.33円, 手数料2,500円 (2019年) US\$4,400.00, 為替110.00円, 手数料2,500円を想定
JC Section 支援費	67,416	100,000	HISS運営補助支援
Student Rebate	6,300	15,100	Yamaguchi Student BranchおよびHiroshima Section Student Branch (2018年総定額)US\$80.0, 為替110.00円, 手数料2,500円を想定 (2019年)US\$160.0, 為替110.00円, 手数料2,500円を想定
2017 Voting Incentive	28,679	0	2018年度のための収入
支部設立20周年記念イベント支援	300,000	0	2018年度のための収入
利息	12	20	
HISS繰越金の繰入	1,000	1,000	20thHISS繰越金を繰入
財団からHISSへの助成金	550,000	550,000	支部にて受取分
支部会計 小計	3,811,111	2,935,070	
21th HISS会計 小計 (支部会計とは別会計)	687,912	700,000	支部からの支援費, JC Section支援費, および支部にて受取分の財団からHISSへの助成金を除いた, HISSにおける収入.
支部会計・HISS会計 合計	4,499,023	3,635,070	

【支出】

(単位：円)

項目	2018年 (年度末想定)	2019年 (予算案)	備考
Section Assessment for IEEE JC	915,964	916,300	JCへ上納 (手数料648円) 15%還元を考慮
Chapter Rebate for SMC28	30,065	30,250	(実績) \$275.00, 為替110.79円 (2018年) \$275.00, 為替110円
Student Rebate	12,649	15,100	(2018年総定額) \$80.00, 為替110円 2017年分(6,349円)も2018年分(6,300円)に合算して振込予定 (2019年)US\$160.0, 為替110.00円
総会及び理事会開催費	141,600	150,000	総会および理事会会場費, 懇親会補助費(20名×2千円)等
講演会開催費 (謝金・交通費)	263,372	150,000	講演会 (2名×5万円, 源泉徴収対応含む)
支部事業費	712,566	220,000	HISS貢献/功労賞(2万円), 学生員勧誘・支援費(1万円), 講演会等共催費(4万円), 共催会議派遣(5万円), 役員理事旅費支援(10万円)
郵送費	2,550	2,500	
雑費	90,312	50,000	事務用品, 送金手数料 等
予備費	711,950	550,920	次年繰越
HISS運営補助支援費	930,083	850,000	支部からの支援費(20万円), JC Section支援費(10万円), 財団助成金 (55万円: 支部にて受取分)
支部会計 小計	3,811,111	2,935,070	
21th HISS会計 小計 (支部会計とは別会計)	687,912	700,000	支部からの支援費, JC Section支援費, および支部にて受取分の財団からHISSへの助成金分の支出(HISSでの支出分)を除いた, HISSにおける支出.
支部会計・HISS会計 合計	4,499,023	3,635,070	

2018年11月29日

I E E E福岡支部 2018年決算見込みと2019年予算(案)

IEEE Fukuoka Section 2018年決算見込み・2019年予算(案)						2018年11月26日現在
収入	IEEE科目	2018年		2019年		備考
		予算	収入実績	収入予定	予算(案)	
今年度収入合計		3,536,106	3,106,100	643,380		
Rebate(本部より口座振込)	3.10	710,640	699,434	0	699,434	2018年実績: US\$5,966.40 → 654,394円、US\$不足分420.00 → 45,040円
MAW2018の開催補助(Japan Councilより)	3.30	593,380	0	593,380	0	
MAW2018の開催補助(R10より)	3.30	50,000	0	50,000	0	
Section Assessment還元(13%)	3.30	202,327	202,573	0	202,573	2018年は2017年Section Assessment実績額の13%にて計算(小数点以下は四捨五入)
Section Congress旅費補助(R10より)	3.33	0	0	0	0	次回は2020年開催(3年に一回)
Section Assessment(本部より口座振込)	3.34	1,556,365	1,558,257	0	1,780,697	2018年実績: US\$14,444.36 → 1,558,257円
Society Funding(MAG Jointチャプター)	3.34	0	222,440	0	0	
銀行預金利息	3.40	34	36	0	36	年二回(2月、8月)
マイルストーンブラーク(銘板)立替精算		423,360	423,360	0	0	三菱電機(株)オーロラビジョンの銘板(IEEE米国本部へ銘板の発注・支払は、支部が行う必要があったため、一時立替したもの)
前年度繰越金		3,852,572	3,852,572	0	4,202,496	
合計		7,388,678	6,958,672	643,380	6,885,236	
支出	IEEE科目	2018年		2019年		備考
		予算	支出実績	支出予定	予算(案)	
事業費		1,643,384	381,842	766,282	700,000	
講演会・理事会開催	4.10	200,000	100,137	100,000	200,000	協賛支援金、理事会非当
MAW2018の開催費	4.10	943,384	0	616,282	0	資料・懇話会開催費500,374円、Web制作等30,000円、講師謝金・交通費46,985,988円
電気・情報関係学会九州支部連合会会費	4.10	50,000	50,000	0	50,000	
Student Branch設立支援(設立時に一度のみ)	4.80	100,000	0	0	100,000	
Student Branch支援(設立翌年より毎年)	4.80	50,000	0	50,000	50,000	熊本大学SB、琉球大学SB
学生奨励賞・発表奨励賞	4.85	300,000	231,705	0	300,000	2017～2018年度表彰関連
管理費		3,625,825	2,247,432	4,000	3,647,717	
理事会交通費	5.20	200,000	144,080	0	200,000	
旅費補助(Section Congress)	5.20	0	0	0	0	次回は2020年開催(3年に一回)
アルバイト料(Webサイト運営)	5.30	20,000	20,000	0	20,000	5名雇用2018.1～2018.12:永島 玄(元大学生)nagashima@ang.ed.kyushu-u.ac.jp 2019年1月卒業
Japan Council支援	5.50	1,555,825	1,557,717	0	1,577,717	Section Assessment(本部より口座振込)より、振込手数料540円を差引き後の金額をJCへ振込
Chapter設立支援(設立時に一度のみ)	5.50	100,000	100,000	0	100,000	
Chapter Rebate(設立翌年より毎年)	5.50	180,000	145,029	0	180,000	2018年振込実績: CAS 24,130円、C 24,130円、AP 24,379円、EMB 24,130円、PEL 24,130円、JF 24,130円
Society Funding(MAG Jointチャプター)	5.50	0	221,900	0	0	Society Funding(本部より口座振込)より、振込手数料は40円を差引き後の金額をMAG Jointチャプターへ振込
事務委託費	5.60	50,000	50,000	0	50,000	ISITへの委託費(R29年度分)
雑費(手数料等)	5.60	15,000	7,868	3,000	15,000	振込手数料等
送料・消耗品	6.10	5,000	838	1,000	5,000	送料・消耗品
国際会議開催準備金貸付	75300	1,500,000	0	0	1,500,000	
予備費		2,119,469			2,537,519	
合計		7,388,678	2,629,274	770,282	6,885,236	
次年度繰越				4,202,496		

I E E E福岡支部の2018年 年間活動報告

(1) 福岡支部理事会第1回開催

2018年1月27日(土) 12時～15時 於 ISIT (福岡市)

議題:

1. 新旧役員の紹介
2. 前回議事録の確認
3. JC 理事会報告
4. 連合大会委員会報告
5. 支部活動状況報告
6. 2017年予算報告、2018年予算案
7. 福岡支部学生研究奨励賞について
8. 福岡支部発表奨励賞について
9. 講師謝金の源泉徴収について
10. Milestone 登録式典および祝賀会
11. 2018年 IEEE MAW 福岡開催の準備
12. 2018年第2回理事会開催日の設定

(2) IEEE マイルストーン登録 記念式典開催

2018年3月8日(木) 11時～15時 於 ホテルニュー長崎 (長崎市)
三菱電機 (株) 屋外用カラー大型表示装置 (オーロラビジョン)

1. 贈呈式
2. 記念祝賀会
3. 記念講演会



R10 の newsletter

<http://www.ieeer10.org/newsletter/2018/04/ieee-milestone-ceremony-for-outdoor-large-scale-color-display-system-1980/>

(3) 福岡支部理事会第2回開催

2018年6月23日(土) 12時～15時 於 ISIT (福岡市)

議題:

0. 役員の紹介
1. 前回議事録の確認
2. JC 理事会報告
3. 連合大会委員会報告
4. 支部活動状況報告
5. 2017年予算報告、2018年予算案
6. 福岡支部学生研究奨励賞について
7. 福岡支部発表奨励賞について
8. MAW 福岡開催の準備
9. Nomination Committee の設置について
10. その他
 - 10-1. 役員交代について
 - 10-2. 2019年第1回理事会開催日

(4) Metro Area Network (MAW) 開催

2018年11月5日(月) 13:00~19:30 於、ハイアットリージェンシー福岡

参加人数: 78名

(産業界・地方自治体 45名、学术界 30名、IEEE office 3名.)

報告: 公開形式で4つの講演が行われた。トピックは下記フライヤーの通りである。

最新技術の提供に留まらず、産業界と学术界、IEEE 会員と非会員の人的交流の機会を得ることが出来た。



IEEE Metro Area Workshop in Fukuoka

2018年11月5日(月)

受付開始 12:00-
講演会 13:00-17:15
交流会 17:30-19:30
交流会参加費 2,000円

定員 100名
参加費無料

場所
ハイアットリージェンシーホテル福岡
2FリージェンシーI
福岡市博多区博多駅東2-14-1 (博多駅筑紫口から徒歩10分)

お申込み
下記IEEE福岡支部のサイトから10月29日(月)までにお申込みください。
定員: 100名 (定員になり次第締め切ります)
<http://www.ieee-jp.org/section/fukuoka/index.php>

プログラム

1 13:15 - 14:00 「人工知能ってなに? どこにある?」 ヴァスコネロス ヴァルガス ダニロ 九州大学システム情報科学研究院	2 14:00 - 15:00 「ネットワークデザインが育む これからの地域社会」 江崎 浩 東京大学工学部
3 15:15 - 16:15 「センサーネットワークによる 食と農のクラウドサービス」 渡邊 勝吉 富士通九州システムズ 未来社会ソリューション本部	4 16:15 - 17:15 「I³-Mechatronicsで実現する 新たなものづくり」 園原 吉光 安川電機 技術部技術企画部

主催
IEEE 福岡セクション

後援
 (一社) 電子情報通信学会九州支部・(一社) 情報処理学会九州支部・(一社) 電気学会九州支部・(一社) 照明学会九州支部
 (一社) 電気設備学会九州支部・(公社) 応用物理学会九州支部・九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会
 大分県 LSI クラスター形成推進会・(一社) 組み込みシステム技術協会九州支部・NPO 法人 QUEST
 九州 IT 融合システム協議会・農業食料工学会九州支部

IEEE
Advancing Technology for Humanity



(5) 2018 年表彰関係

学生研究奨励賞については 6 月 23 日の理事会にて募集要項の確認. 8 月に応募要項を HP にて公開. 9 月初旬から 11 月初旬まで募集し 39 名の応募があった. 12 月末までに審査を終了する見込み. 2019 年の第 1 回支部理事会にて表彰者を審議.

発表奨励賞については 6 月 23 日に募集要項を確定し、6 月下旬から 7 月上旬より応募要項を福岡支部 HP において公開. 連合大会実施期間中に採点し、採点結果をもとに 2019 年の第 1 回支部理事会にて表彰者を審議.

(6) 講演会, 研究会, 国際会議等開催

2018 年 11 月現在、実施予定を含め 15 件 (支部理事会 2 回, 協賛講演 13 件) の開催.

2018年 1. 【協賛/支援金あり】	
開催日	平成30年1月9日 (火) 16時10分～ 17時40分
イベント名	講演会
小テーマ	A Security Protocol Based on a CAN Data Compression Algorithm for In-Vehicle Networks (CAN Data Compression Algorithmを基にした車載ネットワークのセキュリティプロトコルに関する研究)
講演者 (所属)	Prof. Jin Gyun Chung, Division of Electronic EngineeringChonbuk National University, South Korea
開催場所	長崎大学工学部2号棟 22番講義室
主催	
2018年 2. 【主催】	
開催日	2018年1月27日
イベント名	IEEE福岡支部 理事会
開催場所	ISIT
2018年 3. 【後援/支援金なし】	
開催日	2018年3月1日 (水)・2日 (木)
イベント名	火の国情報シンポジウム
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	長崎大学
主催	一般社団法人 情報処理学会 九州支部
2018年 4. 【協賛/支援金あり】	
開催日	平成30年3月27日 (火) 15時00分～17時00分 平成30年3月31日 (土) 10時00分～12時00分
イベント名	The 6th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2018 (ICIAE2018)
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	沖縄県男女共同参画センター(日本)
主催	一般社団法人産業応用工学会
2018年 5. 【主催】	
開催日	6月23日 (土)
イベント名	IEEE福岡支部 理事会
開催場所	ISIT
2018年 6. 【協賛/支援金あり】	
開催日	平成 30年 7月 24日 (火) 16:30 ~ 18:00 ←台風のため7/3から変更済み
イベント名	大学間連携共同教育プログラム 電気エネルギー講座
小テーマ	パワーエレクトロニクスとその応用
講演者 (所属)	原 英則 (工学博士) (株)安川電機 インバータ事業部 技術部 部長
開催場所	九州大学 伊都キャンパス ウェスト2号館3F 328 (第8講義室)
主催	
2018年 7. 【後援/支援金なし】	
開催日	平成30年8月28日 (火) ~ 平成30年8月29日 (水)
イベント名	日本知能情報ファジィ学会九州支部 夏季ワークショップ2018
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	霧島国際ホテル (鹿児島県霧島市牧園町高千穂3930番地12)
主催	日本知能情報ファジィ学会九州支部

2018年 8. 【協賛/支援金あり】	
開催日	平成 30年 9月 6日 (木) ~ 7日 (金)
イベント名	日本の電気エネルギーの未来について討議しよう 平成30年度討論型合宿授業
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	FITセミナーハウス (湯布院)
主催	
共催	
協賛	
連絡先	[担 当 者] 末廣純也 (事務担当: 大庭 美緒) 所属 九州大学大学院システム情報科学研究院 電気システム工学部門 連絡先 (システム情報科学研究院 電気電子工学専攻 大庭) 092-802-3773 e-mail: ohba@ees.kyushu-u.ac.jp
会員宛メール案内送信	7.26に配信不要との返信あり、2018.7.24に原稿依頼済み
支出状況	領収書返送済み、8.10に共催費一部として振込済み
Meeting Report	7.31報告あり、2018.7.24依頼中
2018年 9. 【協賛/支援金あり】	
開催日	平成30年9月10日 (月) 15時00分 ~ 9月14日 (金) 12時00分
イベント名	The 6th IIAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2018 (ICISIP2018)
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)
主催	一般社団法人産業応用工学会
2018年 10. 【協賛/支援金あり】	
開催日	平成30年9月13日 (木) 9時00分 ~ 17時00分
イベント名	産業応用工学会全国大会2018
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)
主催	一般社団法人産業応用工学会
共催	
協賛	
連絡先	[担 当 者] 氏名 江原史朗 所属 宇部工業高等専門学校 制御情報工学科 連絡先 山口県宇部市常盤台2-14-1 TEL&FAX 0836-35-4997 ehara@ube-k.ac.jp
会員宛メール案内送信	10/16承認メール済み、10/3に重井先生に申込あり
支出状況	
Meeting Report	
2018年 11. 【協賛/支援金あり】	
開催日	平成30年9月27日 (木)・28日 (金)
イベント名	平成30年度 (第71回) 電気・情報関係学会九州支部連合大会
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	大分大学 旦野原キャンパス (大分市大字旦野原700番地)
主催	電気・情報関係学会九州支部連合大会委員会 (一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(一社)情報処理学会、 (一社)照明学会、(一社)電気設備学会、(一社)映像情報メディア学会、 (一社)日本音響学会の各九州支部、IEEE Fukuoka Section
2018年 12. 【 Technical Co-sponsorship (共催) /支援金なし、MOU必要】	
開催日	October 21-24, 2018
イベント名	International Conference on Intelligent Informatics and Biomedical Sciences (ICIIBMS)
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	Emerald Hotel in Bangkok, Thailand
主催	
2018年 13. 【後援/支援金なし】	
開催日	平成30年11月17日 (土) ~ 平成30年11月19日 (月)
イベント名	The 3rd International Symposium on Artificial Intelligence and Robotics 2018 (ISAIR2018)
小テーマ	次世代AI×IoTへの取り組み
講演者 (所属)	[講師1]
開催場所	南京大学国際会議センター
主催	第3回人工知能とロボット国際会議運営委員会 (https://isair.site/)
2018年 14. 【後援/支援金なし】	
開催日	平成30年11月27日 (火曜) 30日 (金曜)
イベント名	2018 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS 2018)
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	沖縄県石垣市 インターコンチネンタル石垣リゾート
主催	
2018年 15. 【後援/支援金なし】	
開催日	平成 30年 12月 16日 (日) ~ 12月 18日 (火)
イベント名	JAC-ECC 2018: Japan-Africa Conference on Electronics, Communications and Computations 2018 (JAC-ECC)
小テーマ	
講演者 (所属)	
開催場所	エジプト・アレキサンドリア (エジプト日本科学技術大学)
主催	九州大学とエジプト日本科学技術大学の共同主催

I E E E福岡支部の2019年 年間活動報計画

(1) 福岡支部理事会開催

第1回：2019年1月26日（土）於 ISIT（福岡市）

主な議題の予定

1. 新旧役員の交代
2. 前回議事録の確認
3. JC 理事会報告
4. 連合大会委員会報告
5. 支部活動状況報告
6. 2019年予算案
7. 福岡支部学生研究奨励賞について
8. 福岡支部発表奨励賞について

第2回：2019年6月 於 ISIT（福岡市）を予定

主な議題予定

- ・ 次期学生研究奨励賞の方針，スケジュール等の検討
- ・ 次期発表奨励賞の方針，スケジュール等の検討

(2) 2019年福岡支部表彰関係

【学生研究奨励賞】

第2回理事会（6月）で内容を審議し，8月中に募集要項をHPにおいて公開。

その後，2ヶ月程度募集し，12月末までに審査を終了．2020年1月末の支部理事会において受賞者を審議．

【発表奨励賞】

第2回理事会（6月）で内容を審議する．9月開催予定の電気関係学会九州支部連合大会国際セッションにおける口頭発表が対象．2020年1月末の支部理事会において受賞者を審議．

(3) 講演会，研究会，国際会議等開催

申込みがある場合に随時対応する．

2018 年 11 月 29 日
第 3 回 IEEE JC 理事会資料
JC WIE Chair 野田 夏子

Japan Council Women in Engineering Affinity Group (JC WIE) 活動報告

1. 活動報告 (2018 年)

(1) 役員会

- ・ 2 月 22 日 第 1 回役員会@芝浦工業大学/WebEx (参加：6 名)
- ・ 3 月 14 日 第 2 回役員会@Web 会議 (参加：11 名)
- ・ 5 月 21 日 第 3 回役員会@Web 会議 (参加：11 名)
- ・ 7 月 11 日 第 4 回役員会 (参加：役員 11 名、オブザーバ 2 名)
- ・ 8 月 9 日 第 5 回役員会@Web 会議 (参加：10 名)
- ・ 9 月 10 日 第 6 回役員会@Web 会議 (参加：10 名)
- ・ 10 月 19 日 第 7 回役員会@Web 会議 (参加：7 名)
- ・ 11 月 19 日 第 7 回役員会@Web 会議 (参加：7 名)

(2) IEEE WIE International Leadership Summit (ILS) 2018 Tokyo 開催 (11/9-10)

- ・ 日時：11 月 9 日(金) 13:00～10 日(土) 18:00
- ・ 会場：芝浦工業大学 田町キャンパス
- ・ 参加者数：156 名
- ・ 収支：収入約 190 万、支出約 170 万でプラス着地予定。現在精算作業中、近日中に確定する。

・ IEEE JC 理事各位、幹事会社等ご関係者並びに多くの会員のご協力ご参加のもと、日本で初めてとなる ILS を盛況のうちに開催することができた。参加者へのアンケートを実施中だが、多くの好意的な感想を頂いている。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

・ 詳細は、別紙 1(報告書)、別紙 2(収支報告)参照

(2) 共催・協賛等イベント

[後援] 仙台 WIE 設立 1 周年記念講演会

4/14@東北大学 片平さくらホール

JC WIE チェア野田が出席し、講演と情報交換を行った。

[協賛] MIRU2018

8/5～8@札幌コンベンションセンター

8 月 7 日の WIE ランチミーティング@MIRU2018 に JC WIE、Nagoya WIE、Kansai WIE から参加。交流を深めた。

[共催] IEEE Day 2018 Celebration Party

日時：10 月 1 日 (月) 19:00～23:00

会場：Patio 虎ノ門店

参加者：30 名 (IEEE 会員 17 名、IEEE 学生会員 5、一般非会員 6、学生非会員 2)

支出：IEEE Day お祝いケーキ 9,720 円

SB、YP、WIE、LMAG をはじめとした IEEE Member および事務局メンバー総勢 30 名が集まり、ケーキとともに IEEE Day をお祝いし、記念写真を撮影した。参加したメンバーは、世代や所属を超えて親睦を図り、また、社会人になった元 SB メンバーも参加し、今後、Tokyo YP としての活動に参加予定となった。卒業を機に会員でなくなってしまう学生も多いが、入社後半年ほど経ち社会人生活に慣れたこの時期に交流の場を設けることは YP メンバーとして再び活動してもらうためのきっかけとしては有効であると考えられる。



[後援] The 15th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers (TOWERS) Workshop

日時：11月3日(土)

会場：慶応大学 矢上キャンパス

支出：WIE 賞 賞金として10,000円

女子学生の発表の中から審査員全員による審査で一番良かった発表に贈られる WIE 賞は、以下の発表に贈られた。

善甫 絵理 / Zempo, Eri

筑波大学 システム情報工学研究科

知能機能システム専攻 音響システム研究室

[共催] 第10回 IEEE キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト

主催・共催：IEEE Tokyo YP、IEEE Nagoya YP、IEEE Kansai YP、

IEEE JC WIE、IEEE Kansai WIE、IEEE Sendai WIE

応募期間：9月1日～30日

支出：WIE 賞 賞金として10,000円

JC/Kansai/Sendai WIE の審査員が選出する WIE 賞は、以下のエッセイに贈られることに決定した。

Lay a solid foundation, and time will come for you to shine

著者：WUYUNZHAOLA BORJIGIN

所属：室蘭工業大学

12/1(土) Tokyo YP 10th Anniversary Congress (@日本大学文理学部)において、表彰式を実施予定。

(3) その他参加イベントの報告

R10 SYWL Congress (参加)

日時：8月30日(木)～9月2日(日)

会場：Prime Plaza Hotel, Sanur Bali, Indonesia

参加者：JC WIE からは稲森・矢野が出席

支出：旅費支援 268,803 円

IEEE SYW Workshop (参加)

日時：10月27日(土) 8:30～14:00

会場：Hongik University, Seoul

参加者：20名 (Korea, Tokyo, Indonesia, India, Taiwan, Malaysia)

支出：なし

TENCONの前日程でSeoulにてSYW Workshopが開催された。Seoul Section YP, WIE および、Hongik University SB のメンバーと日本、台湾から参加が集まり、R10 SAC, YP, WIE の各アクティビティと、R10 SYWL Congress, 日本のYP(西宮), WIE(矢野)のアクティビティについて情報共有とディスカッションを行った。Workshopに参加したことで、Seoul Section ChairのYi先生をはじめ、WIEのShim先生・Lee先生や学生のみなさん、および前日に開催されたNetworking Dinnerでは、R10 Director Kukjin Chun先生、Byung-Gook Park先生との交流を深めることができた。



(4) 年度内のその他活動計画

12月21日に役員会開催予定。東京支部WIE設立に向け首都圏以外のWIE会員との交流も予定。

以上

IEEE JC WIE 2018年 年間計画と予算/決算予想

2018年第3回Japan Council理事会資料(8-1)

更新日 2018/11/29

WIE主催イベント

#	年月日	場所	タイトル	主催・共催	予算計画			執行状況(JC分)	備考
					JC	その他	総額		
1	11/9(金)- 11/10(土)	芝浦工業大学・芝 浦キャンパス	WIE International Leadership Summit (ILS)	JC WIE	150	1450	1600	150	予算計画は、年度初めの計画(7月にJC増額を決定いた くまの金額)を記している。 HACからのFund獲得、企業サポートが順調だったため、 JC外からの収入については実際は1770千円であった。

共催イベント

2	10月頃	福岡	MAW Joint event Japan SYWL Wokshop	福岡支部	100		100	0	SYWLが開催されなかったため未執行
3	10/2頃		IEEE Day 2018		10		10	10	
4		東京支部内	Tokyo SYWL イベント(仮)		40		40	0	イベント実施しなかったため未執行

国内他AGのサポート

9			Section WIE サポート		50		50	0	名古屋WIE設立等に合わせた派遣旅費を想定していた が、設立の遅れのために未執行。東京支部WIE設立を見 込み、WIEの設立可能な支部、不可能と思われる支部の WIE会員との意見交換を進めたいため、可能であれば年 度内に意見交換の機会を持ち、その旅費(各支部からの上 京旅費)に振り向けたい
---	--	--	------------------	--	----	--	----	---	--

表彰関連

10	10/9-	奈良	GCCE WIEアワード	IEEE CE-Soc	0		0	0	
11	12/1表彰式		エッセイコンテスト	国内YP, WIE	10		10	10	
12	11/3	慶應	TOWERS Award (WIE賞)	TOWERS	10		10	10	

参加イベント

13	5/21-22	San Jose	IEEE Women in Engineering International Leadership Conference (WIE-ILC) 2018		300		300	269	R10 SYWL Congressに2名派遣
14	8/30-9/2	インドネシア・ハ リ	R10 SYWL Congress						

予算計
執行額計
未執行額

670

2120

(単位: 千円)

449

221

未執行

IEEE JC WIE 2019年 年間計画と予算

更新日 2018/11/29

WIE主催イベント

#	年月日	場所	タイトル	主催・共催	予算計画			備考
					JC	その他	総	
1			WIE 2019	JC WIE	160	75	235	その他75千円は、前年度ILS黒字の繰り越し 託児サービス実施に充てたい
	春～夏		[New] 女性向けキャリアアップ施策	JC WIE	0		0	上記とまとめる可能性あり

共催イベント

2			Japan SYWL Workshop		80		80	地方開催、主に旅費として計上(2名程度) (2018より減額で計算)
3	10/01 ～2w		IEEE Day 2019		10		10	WIE2019と同時開催の可能性もあり その場合、WIE2019を10月前半に開催する必要あり
4			Tokyo SYWL イベント・WIE会員総会	YP, SB, LMAG	40		40	東京支部WIE設立も見込み、東京支部内でのAffinity Groupとの連携や地方在住WIE会員との交流のため の機会が必要

国内他AGのサポート

9			Section WIE サポート		30		30	WIE設立のためのJC-WIEメンバの旅費など(名古屋、 四国等)
---	--	--	------------------	--	----	--	----	--------------------------------------

表彰関連

10			GCCE WIEアワード	IEEE CE-Soc	0		0	
11			エッセイコンテスト	国内YP, WIE	10		10	
12			TOWERS Award (WIE賞)	TOWERS	10		10	

参加イベント

13	5/23- 24	Austin	IEEE Women in Engineering International Leadership Conference (WIE-ILC) 2019		300		300	・ILCへの旅費はGlobal WIEのボランティア向けサポ ート(1000ドル)を想定、JC WIEは宿泊費の補助 500ド ル程度を予定(2018年方針と同様) ・その他SYW関連で実施が見込まれるイベントに派遣 を予定 ・総額で300千円を予定
14			その他SYWL関連イベント					

計

640

715 (単位:千円)

IEEE WIE International Leadership Summit 2018 Tokyo 開催報告

2018/12/4 IEEE JC 理事会
IEEE JC WIE 野田夏子

IEEE Japan Council WIEは、2018年11月9（金）・10日（土）芝浦工業大学にて、IEEE WIE International Leadership Summit 2018 Tokyo を開催し、2日間で150名超の参加があった。本サミットのメインテーマは「My Life, My Career」、多様化・グローバル化が進む中で、一人ひとりの女性技術者・研究者が自分らしく輝けるよう、キャリア形成を支援し、グローバルに女性技術者・研究者のネットワーキング、コラボレーションの機会を提供した。メインセッションの発表・パネルセッション10件に16名が登壇、パラレルセッション11件に21名が登壇し、多様な講演者が実体験に基づいたすばらしいプレゼンテーションと参加者とのディスカッションが行われ、盛況に会を終えることができた。

当日のプログラム

<https://www.ieee-jp.org/japancouncil/affinitygroup/WIE/ILS2018Tokyo/program.pdf>

主な講演者

坂本 英一氏（日本電信電話株式会社 取締役 総務部門長）
玉城 絵美氏（早稲田大学 / H2L株式会社 創業者 / STEM Girls Ambassodar）
内海 房子氏（独立行政法人国立女性教育会館 理事長）
川上 紀子氏（東芝三菱電機産業システム, IEEE Fellow 2018）
Karen Bartleson 氏（IEEE Past President）

海外からの講演者

Boutheina Kzadri 氏 (RIT Dubai)
Ramalatha Marimuthu 氏 (Kumaraguru College of Technology, India)
Norliza Mohd Noor 氏 (UTM, Malaysia)
Bozeman Pasik-Duncan 氏 (University of Kansas / IEEE Global WIE Chair)
Keyana Tennant 氏 (IEEE Award Program)
Hussain Mahdi 氏 (IEEE Region 10 Humanitarian activities committee)

参加者内訳

一般	55名
学生	23名
企業参加	42名
その他（講演者・関係者）	36名
合計	156名

収支

11月末日現在概算（プラス着地予定）

収入：1,920千円 ※JCからの補助額は150千円で計算

支出：1,785千円

Supporting Members

IEEE関連部門からの支援をはじめ、9社の企業からご支援をいただいた。

IEEE Japan Council, IEEE Global WIE, IEEE Humanitarian Activities Committee
NTT, HITACHI, NEC, PicoTherm, Fujitsu, TOSHIBA, RICOH, Google, Coca-Cola

参加者の声（アンケート実施・集計予定）

※現時点でいただいているコメントの一部を掲載

- Very impressive and inspiring event. 前向きなリケジョの方々に会えてよかった。
- 今まで色々なConferenceに参加したが、日本人のプレゼンは文法や発音ばかり気にしているように感じていた。今回は内容を伝えたいという意欲がすごく伝わり、とても感動した。
- Karen BartlesonさんのKeynoteはとても学ぶことが多かった。
自信を持てずに一歩踏み出せないことが多かったが、Karenさんの話を聞いて「Yes ... if」と私も答えるようにしていきたいと強く思った。
- 数少ない女性技術者のキャリア構築のプロセスを実体験をもとに聞くことができた、是非、公私ともに広めたいと感じた。
- The WIE ILS Tokyo was a big success and most memorable. You had a big crowd and beautifully diverse audience: women and men, academia, industry, and government, students, young professionals, and senior scholars. I loved my interaction with students participating in the Symposium!
- The Program was fantastic! I enjoyed tremendously the Session focused on International Experiences in Japan. Although I have been a few times in Japan I learned an invaluable lesson about your culture from outstanding panelists. Japanese food and sweets were delicious, so so good!!
- Organizerからのもてなしに感動した。



IEEE WIE ILS 2018 Tokyo 収支報告書(2018/11/30 暫定版)

ILS 2018 Tokyo 実行委員会

実行委員長 野田 夏子 (IEEE JC WIE Chair)

Income				
Item	Detail	7/4予算案	実績	備考
Registration Fee		¥500,000	¥510,000	
Sponsors/Partnership	広告・出展・団体参加費	¥800,000	¥950,000	
IEEE WIE Support	1,500 USD	¥150,000	¥150,000	
IEEE HAC Support	最大 3,000 USD	¥0	¥123,360	最終金額を調整中
IEICE Support		¥0	¥37,129	
Japan Council Support	最大 500,000JPY (HAC Fund採択の場合は減額)	¥500,000	¥150,000	
Total		¥1,950,000	¥1,920,489	
Expense				
Item	Detail	7/4予算案	実費	備考
Site				
- Room Rental	会場利用料(共催の芝浦工大サポート)	¥0	¥0	
- Decoration	演台花・会場レイアウト変更費用	¥50,000	¥15,120	
- Site Staff	受付スタッフバイト(6人×8H×1.75日+前日設置)	¥84,000	¥138,000	
Promotion				
- Banners / Signage	会場看板(イベントバナー)・フォトブース背景バナー	¥200,000	¥179,522	
- Brochures / Flyers	プロモーション(チラシ等作成・印刷費)	¥60,000	¥6,200	予算は当日配布プログラム作成費用を含む
- Program Brochure	プログラム製作費/印刷費		¥71,432	
- Web	Webページ作成費用	¥50,000	¥50,000	報告ページ作成 *調整中
- Other				
Registration				
- Registration Service Fees	受付サイト利用料	¥70,000	¥41,905	
- Badges		¥20,000	¥6,030	
- Attendee Kits / Gifts	バッグ・グッズなど参加者キット	¥100,000	¥34,600	

Food & Beverage				
- Water	ミネラルウォーター	¥36,000	0	
- Breaks (Day 1 & 2)	コーヒー・スナック菓子	¥100,000	¥98,749	
- Networking Meeting (Day 1)	軽食・ドリンク(1日目)ベジ・ハラル対応	¥400,000	¥281,210	
- Lunch (Day 2)	ランチ(2日目)ベジ・ハラル対応	¥400,000	¥194,400	半額をHAC Fundより
Program				
- Speaker Travel & Living				
	講演者交通費 (SIGHT関連セッション分)		¥26,160	HAC Fundより
	講演者宿泊費 (海外から・6名分)	¥100,000	¥157,000	海外からの講演者に対して2泊分相当(2.8万円を基本として)をサポート・6名分
	講演者交通費		¥6,162	
	交通費 (海外からの講演者送迎 ホテル→会場)		¥2,200	
- VISA	Visa関連書類送料(国際配送)	¥50,000	¥2,800	
- Speaker Gifts	講演者への記念品	¥30,000	¥74,304	
Miscellaneous				
	文具類	¥20,000	¥13,804	
Other				
- Photo	カメラマン 2日間	¥100,000	¥100,000	
- 関係者飲食	講演者・関係者用ランチ		¥46,479	
	講演者・関係者とのディナー		¥178,764	
-Other	重複登録分の返金		¥10,000	
	翻訳費用(日→英)		¥50,000	*調整中
	来年度イベント運営費として持越し(今回の黒字分)		¥75,000	WIE2019イベントで託児サービス提供を検討 *調整中
- TBD	その他(予備費)	¥80,000	¥60,648	*調整中
Total		¥1,950,000	¥1,920,489	

JC MD Coordinator 報告

JC MD Coordinator 橋本 隆子

資料目次

1. 2018 年活動報告とまとめ
2. 2018 年予算/年度末（12 月末）予想
3. 2019 年活動計画および予算案

<参考資料>

<https://drive.google.com/open?id=1bpxoUhjbspZKR03-j8evZTlgH0Ba-7A->

- (ア) 第 1 回 JC MD WebEx 議事録
- (イ) 第 2 回 JC MD WebEx 議事録
- (ウ) 第 3 回 JC MD F2F 議事録
- (エ) 今年度の JC MD 活動についての感想
- (オ) 2019 年活動への提案

1. 2018 年活動報告とまとめ

1.1 活動報告

2 回の WebEx 会議、1 回の F2F 会議を実施。

* 第 1 回 JC MD WebEx 会議 (2018 年 4 月 10 日(火)20:00-21:00)

- 参加者:16 名:【支部 MD】柏(札幌)、末松(仙台)、八井(東京)、佐藤(信越)、栗本(名古屋)、福井(関西)、大竹(福岡)、【JC】津田、南、鈴木、杉江、橋本、【Japan Office】百武、梶川、【JC 事務局】加藤、【幹事会社】柴田 (順不同、敬称略)
- 主な議題: MD Chair 顔合わせ、2017MD 総括、2018 方針と具体策(現状の課題認識とその共有)
- 結論: 各支部の MD 状況、課題の共有を進める

* 第 2 回 JC MD WebEx 会議 (2018 年 6 月 25 日(月)20:00-21:00)

- 参加者:14 名:【支部 MD】柏(札幌)、末松(仙台、途中参加)、八井(東京)、佐藤(信越)、栗本(名古屋)、伊藤(広島)、大竹(福岡)、【広島】中西、【JC】南、杉江、橋本、【Japan Office】百武、梶川、【JC 事務局】加藤(順不同、敬称略)
- 主な議題: 各支部の MD 状況・課題の共有、F2F 開催意義について
- 結論: F2F 会議開催に向け、更に議論を詰めていく

* 4 月、6 月の WebEx 会議とメールによる議論を経て、F2F 会議を開催したいという意思を MDC 内で確認。

* 7 月の JC 理事会において、F2F 会議開催を審議いただき、承認を得る。

* 第 3 回 JC MD F2F 会議 (2018 年 9 月 18 日(火)13:00-16:00)

- 参加者:11 名(うち 1 名 WebEx 参加)(順不同、敬称略)
【支部 MD】末松(仙台)、大竹(福岡)、八井(東京)、佐藤(信越)、柏*(札幌)、【JC】津田、南、杉江、【Japan Office】百武、梶川、【R10】西原
* WebEx 参加
- 主な議題: 各支部等の関連活動状況報告、会員 Value 等について

* 上記会議やその前後のメールによる議論を踏まえて、MDC 他による「今年度の MD 活動についての感想」を収集。

* 栗本宗明 現名古屋支部 MDC が日本人 MDC として初めて、IEEE MD WebCast にて講演。名古屋支部の MD Best Practice 活動を広くアピールした。

- 栗本 名古屋支部 MDC による IEEE MD WebCast 講演 (2018 年 10 月 19 日 (金) 23:00-24:00)

1.2 まとめ

- 議論を通じて指摘されたこと、わかったこと

<Society, Chapter>

- 東京支部の Grade、Society 別の会員推移・増減データを分析した結果、Communication Society と Computer Society の会員減少が国内の会員減に大きな影響を与えていることがわかった。
- AI 技術等の産業界の動向に IEEE が対応できていない。
- オープンジャーナル普及に従い、IEEE Xplore の価値が下がっている。Society に加入していない会員も増えている。

<支部ごとの状況の違い>

- 会員数の少ない支部では、MD はあまり活発でない。どのように進めていってもよくわからない。ベストプラクティスの共有が効果的であると思われる。

<シニアメンバーへの昇格>

- シニアメンバーへの応募資格があっても、なかなか応募してくれない。
- 名古屋支部等が保有しているシニア昇格のためのテンプレートは、他の支部間で共有を進めたい。
- JC 全体で対応マニュアルを作ったほうが良い
- Reference の文面サンプルの提供を IEEE に依頼したい。どういものが標準的かがわかれば、Reference を依頼しやすくなり、Senior に申請しやすくなる。

<Student 対応、メンバーへの昇格>

- 東京支部の Grade、Society 別の会員推移・増減データを分析した結果、Student から Member への移行が MD において重要であることが報告された。
- 学生を奨励するための賞の授与などは多くの支部で積極的に行われている。
- 東京支部のように、学生用の入会のページを作って共有するとよい。

<退会理由>

- 東京支部の Grade、Society 別の会員推移・増減データを分析した結果、主な退会理由は会費の未納入であることがわかった。自動更新を推進し、自動更新してくれた人に特典を与えるような仕組みを検討していく等の提案もあった。

<会員 Value>

- 会員 Value は会員が感じるものなので、会員へのアンケート調査を基に対策を議論したほう

が良いのではないか。2014 年にアンケートが実施されていることから、まずは、2014 年の結果から Society のみの人の意見を分けて抽出できないか。難しい場合、society のみの人の意見が得られるよう再度アンケートができないか。アンケートを実施する場合、追加の質問案として、最近退会した society とその理由、(会員の人で)なぜ society に入らないのか、society のみのほうが会員になるよりも会費が年間で約\$100 安いので、そのような意見をアンケート結果として集計できれば、その結果を基に会員が value を感じる会費を、IEEE に提案するなどできないか。

＜IEEE に対する評価＞

- IEEE の評価を日本の大学や企業において高めていくことが重要である。そうすれば学生が就職後も IEEE 会員を継続してもらえるのではないか。
- Web に各大学の Fellow、Senior member の数を掲載するのはどうか？

＜AG 等との連携、MAW 等＞

- 関西支部では、MDC、SAC、YP で合同の Meeting を開催し、状況認識と対応策を議論している。
 - 名古屋支部は、MAW 等で活性化を図っていることもあり、Retention 等毎年表彰されている。Activity を上げないとメンバーが集まらないと思われる。
- 全支部の MDC が WebEx や F2F を通じて会議を行うのは初めてのことであり、会議の進め方自体も含めて MD について議論を行い、一応の方向性を出せたことは、今後の日本の MD にとって意義があることと考える。
 - 本活動を通じて、会員の分析データをもとにした議論、各支部の状況（課題やベストプラクティス）の共有、会員のメリットなどについて、忌憚のない意見交換ができた。
 - 支部ごとに異なる MD 状況とそれによる課題を確認できたとともに、支部を超えて共有できるベストプラクティス等が種々あることがわかった。MDC のトレーニング、情報の共有などを進めていくことの重要性が認識できた。

2. 2018 年予算/年度末 予想

F2F 会議

旅費： 104,578 円

会議室：12,960 円

約 117,538 円

3. 2019 年活動計画および予算案

3.1 2019 年 活動計画

今年度の活動を踏まえ、MD Coordinator として以下を提案する。

- * 年初に、JC MD Coordinator が中心となり、各支部の MDC の方々と協議の上、具体的な活動計画等を策定し、それをベースに活動をしていく。
- * F2F 会議については、予算、MDC のスケジュール、メンバー間の合意等の調整がつけば、開催を勧める。
- * 主に MDC に着任されたばかりの方を対象に、MD Manual 紹介や、支部の状況（数値データ）などを共有する機会を持つことを奨励する。
- * Senior メンバー昇格のためのテンプレート整備を行う。（名古屋支部、東京支部などの活動を参照）
- * その他、共有可能な情報（Renew をしなかったメンバーへの送信メールなど）の共有化をできる範囲で進める。
- * 数値データの解析、ベストプラクティスの共有に加え、会員のメリット、IEEE の Value といった MD の本質について、Academia, Industry の観点からさらに議論を進める。

来年度に向けては、以下のような活動計画を検討中。

- * 来年度 JC MD Coordinator : 栗本宗明 現名古屋支部 MDC
- * 橋本は、JC MD Past Coordinator として、来年度の JC MD Coordinator の方に今年度の活動を引き継ぐとともに、来年度の JC MD 活動に参画する。
- * 1 月～2 月 : MDC 間でラフな年度計画策定。（例 : WebEx 2 回ほど。F2F 1 回開催等）
- * 2 月～3 月 : MD マニュアル、JC からのデータ共有など。MDC として活動確認
- * 3 月～4 月 : ベストプラクティス共有推進（Senior 昇格のテンプレート化）
- * 7 月～9 月 : F2F 会議（各支部の状況共有、Best Practice の共有など）
- * 11 月～12 月初 : 当該年度の活動評価、来年度案作成

3.2 2019 年 予算案

JC MD F2F のための費用。

東京開催、日帰りの場合、概算で 40 万程度。

所属部署のサポートが得られるかを確認し、経費削減に努める。

2018 年度

第三回 Japan Council 理事会 YP Coordinator 活動報告

2018 年 12 月 4 日 (火)

JC YP Coordinator 西宮康治朗

報告内容

- 1) 2018 年度各 YP AG 活動報告
- 2) 2018 年度 JC YP 活動報告
- 3) 2019-2020 JC YP Coordinator 候補者
- 4) 2019 年度活動計画

1) 2018 年度各 YP AG 活動報告

【東京 YP 活動報告】

- ① 1 月 27 日 : 2018 年度東京 YP キックオフ
- ② 2 月 24 日 : 横浜市 次世代育成事業 もの作り教室「みんなの知らない波の世界」
- ③ 3 月 21 日 : 再生医療学会総会 中高生のためのセッション
- ④ 5 月 19 日 : 第 1 回 Tokyo YP Engineer' s Salon
- ⑤ 7 月 7 日 : 第 3 回 IEEE ハックチャレンジ in Tokyo
- ⑥ 7 月 12 日 : キャリアナビゲータ : むつ市への出張授業
- ⑦ 7 月 25 日 : COMPSAC 2018 Special Young Professionals Session
- ⑧ 8 月 2 日 : こども霞が関見学デーでの出張授業
- ⑨ 8 月 26 日 : 第 2 回 Tokyo YP Engineer' s Salon
- ⑩ 8 月 30-9 月 2 日 : R10 SYWL Congress 2018 in Bali (※講演)
- ⑪ 8 月 31 日 : IEEE Region10 Young Professionals Volunteer Award - Industry を鈴木麻由美 (IEEE Tokyo Section) が受賞
- ⑫ 9 月 19 日 : 第 7 回 STEP Event 企業見学会 (大日本印刷様)
- ⑬ 10 月 1 日 : IEEE Day 2018 イベント
- ⑭ 10 月 26 日-27 日 : IEEE SYWL Workshop by Region10 in Seoul 2018 (※講演)
- ⑮ 10 月 28 日-31 日 : TENCON 2018 in Jeju (※講演)
- ⑯ 11 月 3 日 : IEEE TOWERS 後援
- ⑰ 12 月 1 日 : Tokyo YP 10th Anniversary Congress 予定
- ⑱ 12 月 1 日 : 第 10 回 キャリアアップに関するエッセイコンテスト 受賞式 (Tokyo YP 10th Anniversary Congress 内) 予定

来年度は、予算は例年ベースで、活動に関しては 12/1 の Tokyo YP 10th Anniversary Congress を受けて考える予定。

【名古屋 YP 活動報告】

Officers

Chair: 鈴木 拓央 (愛知県立大学)

Vice-Chair: 山田 剛史 (豊田自動織機)

Secretary: 李 載始 (中部大学)

Treasurer: 伊東 健一 (豊田中央研究所)

Meetings

I. Technical Meetings

なし

II. Non-technical Meetings (e.g. Professional or Administrative)

(a) イベント

(1) Nagoya YP Social Event 2018 [主催]

内容: 酒蔵見学

日時: 2018 年 7 月 29 日

場所: 寒紅梅酒造

参加者数: 8 名

(2) R10 SYWL Congress 2018 [参加]

日時: 2018 年 8 月 30 日～9 月 2 日

場所: The Prime Plaza Hotel, Denpasar, Indonesia

(3) Career Building Essay Contest [共催]

投稿締切: 2018 年 9 月 30 日

投稿件数: 14 件

授賞式: 2018 年 12 月 1 日

(4) R10 TENCON 2018 [講演]

日時: 2018 年 10 月 28 日～31 日

会場: Ramada Plaza Jeju, Jeju Island, South Korea

(5) WIE ILS 2018 [講演]

日時: 2018 年 11 月 9 日～10 日

会場: 芝浦工業大学 芝浦キャンパス

(6) Tokyo YP 10th Anniversary Congress [講演]

日時: 2018 年 12 月 1 日

会場: 日本大学 文理学部キャンパス

(7) Nagoya YP Workshop 2018 [主催]

内容：講演会

日時：2018 年 12 月 8 日

会場：中部大学 名古屋キャンパス

参加者数：20 名（予定）

(b) 役員会

(1) 2018 年 2 月 17 日 会場：鶴舞駅 出席者数：8 名

(2) 2018 年 4 月 8 日 会場：ウェブ 出席者数：10 名

(3) 2018 年 12 月 8 日 会場：鶴舞駅 出席者数：7 名（予定）

(c) 親睦会

(1) 2018 年 2 月 17 日 会場：鶴舞駅 出席者数：7 名

(2) 2018 年 12 月 8 日 会場：鶴舞駅 出席者数：9 名（予定）

【関西 YP 活動報告】

2018 年体制

YP Chair	和泉 慎太郎	大阪大学
YP Vice Chair	伊原 彰紀	和歌山大学（次期 Chair）
YP Treasurer	伊藤 信貴	NTT
YP Secretary	佐藤 伸吾	関西大学
YP Member	熊木 武志	立命館大学
	石田 哲也	ウェーブテクノロジー
	田中 亜実	立命館大学
	廣本 正之	京都大学
	佐藤 丈博	京都大学（次期 Vice Chair）
	上村 恭平	奈良先端科学技術大学院大学
	岩居 健太	立命館大学（次期 Treasurer/Secretary）

2018 年度活動内容

- 1) WIE シンポジウム実行委員会（5/16、7/11、8/22@大阪工業大学）
- 2) MDC/SAC/YP Join WS を開催（5/22、11/20）
- 3) 関西 WIE シンポジウムの共催（9/29、大阪工業大学）
大阪大 SB、同志社大 SB とともに共催
- 4) YP エッセイコンテスト共催（現在審査中）→伊原先生、佐藤（丈）先生
- 5) Tokyo YP 10 周年記念イベント（12/1）
- 6) Kansai YP AG meeting（12/M?）

2) 2018 年度 JC YP 活動報告

1) JC YP News Letter 発行

今年度より始めた Japan YP News Letter を 2 部発行した。【Vol. 1(3 月発行)および Vol. 2(9 月発行)】内容としては、各 YP AG の活動紹介、日本で活躍している YP メンバー個人の紹介、日本の役員クラスのメンバーが YP に対して抱いている期待や想いをインタビュー形式で紹介した。また、今年度参加した R10 SYWL Congress と TENCON の様子を次号にて掲載予定 (2019 年 1or2 月予定)。

2) R10 SYWL Congress 参加

JC YP Coordinator として、R10 SYWL Congress に参加し、日本の YP 活動を紹介し、また、日本より参加した各 SB の引率を行った。(詳細な報告は別添)

3) TENCON 代理参加

JC YP Coordinator 代理として、東京 YP Chair の鈴木麻由美が TENCON に参加し、YP 活動紹介及びパネリストとして講演を行った。R10 内に東京 YP の活動を十分にアピール出来、多くの人と交流を深める事が出来た。

4) Japan SYWL Workshop 準備委員会発足

MAW と併催していた Japan SYWL Workshop を今後も継続する為に準備委員会を発足し、Workshop の今後の形態や運営方法について議論し、PR 活動を行った。

5) キャリアアップスキルアップに関するエッセイコンテスト

日本の全 YP 及び WIE 共催で行っているエッセイコンテストを、今までは東京 YP の予算主体で行っていたものを JC YP として扱う事となった。今年も幅広いエリア・国籍からの募集があった。授賞式は 12/1(土)の Tokyo YP 10th Anniversary Congress 内で行う予定である。なお、表彰結果は下記の通りである。

【最優秀賞】

著者: Reinhard Siwombe Karembere、所属: 同志社大学

エッセイタイトル: Young Engineers - How can we take on challenges which will contribute to the future?

【YP 賞】

著者: 西川 広記、所属: 立命館大学.

エッセイタイトル: A necessity of updating a mind of curiosity and activeness for the future

【WIE 賞】

著者: WUYUNZHAOLA BORJIGIN、所属: 室蘭工業大学

エッセイタイトル: Lay a solid foundation, and time will come for you to shine

<2018 年度支出予想>

2018 年度 JC YP Coordinator 活動内容	予算案	現状報告(11/29)	予算比
① キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト (東京・名古屋・関西 YP 共催)	45,000 円	35,017 円	77.8%
② R10 SYWL Congress 参加費	130,000 円	151,707 円	117%
③ MAW 2018 参加費	50,000 円	0 円	0%
④ HardTech Summit 2018 (R10 YP Event)参加費	100,000 円	50,000 円 (概算)	50%
⑤ Japan YP News Letter 発行費	0 円	0 円	100%
合計	325,000 円	236,724 円	72.8%

- ① 学部生賞が該当者なしだった為減額
- ② 主催者からの採択通知遅延の為に航空券の値段が上昇した
- ③ Japan SYWL Workshop が開催されなかった為不参加であった
- ④ 代理出席で東京 YP の鈴木麻由美様に TENCON に出席して貰った。講演者として招待されていたため登録料など不要であり、安価に済んだ
- ⑤ 当初の予定通り

3) 2019-2020 JC YP Coordinator

次年度の JC YP Coordinator を、西宮より下記の通り交代する予定である。

☆ 2019-2019 JC YP Coordinator: 竹村龍一

4) 2019 年度活動計画

来年度は、一つでも多くの支部に YP Affinity Group を設立する事を目標に、より多くの有意義な情報を発信し、日本国内の YP の連携をより強固なものにしていく予定である。それに基づき、以下の活動計画を予定している。

1) JC YP News Letter 発行

今年同様、News Letter を年に 2 ～ 3 号発行予定。

2) Japan SYWL Workshop への参加

開催地は未定であるが、Japan SYWL Workshop を開催し、現地の SYWL メンバーに活動内容を積極的にアピールして新たな YP AG 設立を目指す。

3) R10 内国際イベントへの参加

日本の YP 活動の宣伝、R10 内の人脈形成、JC YP News Letter への掲載を目的として、国際イベントに参加予定。

4) TENCON2019 への参加

現在計画している TENCON2019 内の「Students, Young Professionals, WIE と企業との Special Track」に日本の YP から募集を行い 2 名程度派遣予定。

活動内容	予算案
Japan YP News Letter 発行費	0 円
Japan SYWL Workshop への参加 (竹村、西宮)	100,000 円
R10 内国際イベントへの参加費用	150,000 円
TENCON2019 への参加費用 (日本の YP より募集)	300,000 円
キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト (東京・名古屋・関西 YP 共催)	45,000 円
合計	595,000 円

以上

JC 理事会報告

Life Member Activity の関する状況

2018.12.4 R10 LM Coordinator 青山友紀

1. R10 LMAG の新設

R10 には現在 10 Section に LMAG が存在している。()は現在の Life member 数
青山 R10 LM Coordinator 期間中に 3 か所の LMAG が発足。

2018 年の目標として 5 Section に LMAG を新設することを目指したが、
Seoul Section LMAG が新設されたのみであった。現在仙台 Section が LMAG 新設を
検討中である。

New South Wales (136)

Bombay (23)

Tokyo (651)

South Australia (20)

Kerala (16)

Kansai (156)

Victorian (89)

Delhi (46) : started in 2017

Nagoya (71) : started in 2017

Seoul LMAG (27) : started in 2018

国内に LMAG の存在しない Section で比較的 Life Member 数が大きい section に働き
かけをしてきたが、次期 LM Coordinator に引き継ぐこととする。

候補 Section

Beijing (28)

Hong Kong (54)

New Zealand (Central+North+South) (49)

Singapore (39)

Thai Pei (55)

2. R10 SYWL2018 での LM をテーマとするセッションの実施。

青山 LM Coordinator の企画により、Tokyo LMAG, Kerala LMAG および開催国のイ
ンドネシアの Life Member の三人の講演者によりそれぞれの Section による活動状況
報告と LM Coordinator の司会によるパネル討論を行った。Tokyo LMAG からは三木
LMAG Chair が参加する予定であったが、急に都合が悪くなり、高野 Vice Chair が講
演した。

3. **TENCON2018 における青山 LM Coordinator の講演**

TENCON2018 において “What is IEEE Life Member and how can Life Member play a role?” と題する講演を行った。また、新設された Seoul LMAG の役員と交流した。

4. **次期 R10 LM Coordinator**

2019-2020 の R10 LM Coordinator は Kerala LMAG Chair の Prof. S.V. Sankara が就任する予定であり、現在引き継ぎを進めている。来年 1 月の R10 EXCOM では次期 LM Coordinator がその活動目標と計画を述べる予定である。

引継ぎの主な項目は、R10 における LMAG の新設、前 LM Coordinator より引き継いだ主要 LMAG Chair により構成する R10 LM Committee がまだ未設定であり、次期任期中での設置、などである。

5. **2019 Life Member Committee**

2019 MGA Committee appointments が発表され、2019 Life Member Committee のメンバとして R10 からは青山が参加することとなった。

2019 年 Japan Council 活動計画 (案)

1. Japan Council 理事会開催予定

- 第1回 : 4月10日(水) 東京
第2回 : 7月26日(金) 四国支部
第3回 : 12月4日(水) 東京

2. 主要議題および支部との連携強化・活動支援

- Section Assessment の還元および Section 支援費の有効な利用を促し、各支部の活動強化に協力する。
- JC に設置の MD/YP/LMAG Coordinator の協力のもと、各支部の会員 Renewal の未更新の低減、シニアメンバー比率の向上、各支部の YP/Life メンバー活動の支援を行う。また、Fellow 昇格者数の増加を目指し、会員増強への施策を検討する。
- 理事会を東京地区以外で開催し、支部との交流および連携を図る。(第2回目を予定)
- 仙台支部主催で開催を計画中の MAW2019、LMAG 新設の支援を行う。
- Chapter 活動および Student Branch 活動、Affinity Group 活動の一層の強化を支援する。
- 東京支部とボストン支部、ソウル支部間で締結した姉妹支部協定に基づく交流活動を支援し、国際的な支部間交流を他支部にも展開できるよう検討を行う。

3. 常設委員会の活動

- Chapter Operations Committee (COC)
- Student Activities Committee (SAC)
- Industry Promotion Committee (IPC)
- Awards Committee (AC)

4. Ad-Hoc 委員会の活動継続 (期間 : 2019-2020 年)

- Long Range Strategy Committee (JC LRSC)
委員会を継続し、今後の JC 運営に対する方向性を検討して理事会に提言する。
- History Committee (JC HC)
委員会を継続し、国内の各支部と連携して IEEE Milestone 候補となるテーマの調査・発掘・申請、式典の支援を行う。

5. Affinity Group および JC Coordinator の活動

- Women in Engineering (WIE)
- Coordinator (MD、YP、LMAG)

6. 本部、R10 との連携強化

- ・ 本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して懇談会や講演会等を企画し、情報交換を行う。
- ・ 本部および Region10 の各種委員会委員および各種 Award に対して積極的に推薦するとともに委員業務のサポートを行う。
- ・ 本部および Region10 の各 Fund に積極的に応募する。

7. 国内学会との協力関係の推進

- ・ IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU 更新作業を継続する。

以上

2018年第3回 Japan Council理事会資料(11-1)

IEEE Japan Council 2019年計画案 (活動ベース)

SA15%還元

2018.12.03

2019年:

単位: JPY

【一般会計】

2017年: US\$1=¥111- 2018年予算: US\$1=¥107-

¥105 で試算(18年8月末 TTB¥110 -¥5)

【収入の部】

2017年決算

2018年予算

2018年決算予想

2019年予算案

備考

210 Meetings & Social Events					
定期開催 会議/懇親会参加費収入	78,000	100,000	114,000	100,000	懇親会徴収分
310 Rebate from IEEE HQ					
WIE Rebate	31,689	31,565	32,647	30,975	\$295- (予測)
Chapter Rebate	31,689	0	0	0	
320 Region Receipts					
WIE FUND	32,226	32,100	214,020	42,000	\$400- (予測)
R10 Incentive (Golden Jubilee book)	56,265	0	54,375	0	
330 Sections or Councils					
各支部からの拠出金	27,200,427	26,197,131	27,668,880	26,751,270	\$ 254,774- (2018年前期実績+後期予測)
332 Receipts from MGA(RAS, other Major Boards)					
監査費用サポート	198,400	198,400	198,400	198,400	
340 雑収入 (CB口座)	873	2,000	2,000	2,000	
345 雑収入 (CB以外)	1,323	2,000	2,000	2,000	
① 収入合計	27,630,892	26,563,196	28,286,322	27,126,645	

【支出の部】

410 Meetings & Social Events					
理事会・各委員会費	3,011,442	4,300,000	3,500,000	4,000,000	
その他会費	0	50,000	50,000	50,000	
480 Student Activities					
SB支援費	1,347,177	2,150,000	1,700,000	1,680,000	
490 Support to Sections/Chapters					
WIE支援費	342,031	690,000	450,000	640,000	
WIE Rebate & Fund支払い	63,915	63,665	246,667	72,975	
Coordinator 活動費	0	500,000	500,000	950,000	YP ¥550,000- MD ¥400,000-
550 Support to Sections/Chapters					
Section Assessment 還元	2,721,494	3,405,627	3,598,968	4,012,691	SA 15%還元
Section 支援費	101,922	1,500,000	900,000	1,500,000	
Chapter支援費(COC分配分)	3,125,508	4,000,000	4,000,000	4,000,000	
Chapter支援費(COC分配分)	-1,499,554	0	-902,578	0	2017年度未払い残高¥2,352,540 →支払¥830,431 差額 ¥1,522,109-
Chapter Rebate支払い	31,689	0	0	0	
事務局費合計	10,165,728	10,764,665	10,464,665	11,225,000	
事務局費1 計 (注1)	9,414,241	9,356,000	9,356,000	10,000,000	JC/東京支部共通費用(主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等)のうちJC負担分 80%
事務局費2 計 (注1)	408,665	408,665	408,665	525,000	共通サーパ運営費のうちJC負担分 75%
事務局費3 計	342,822	1,000,000	700,000	700,000	JC 監査費用・手数料・備品等
予備費	545,229	2,500,000	1,716,106	2,800,000	
MAWおよび関連費用	320,000	1,000,000	716,106	1,300,000	Japan SYWL WSを含む(仙台MAW希望 ¥800,000-)
その他	225,229	1,500,000	1,000,000	1,500,000	参加支援等 2018年: R10SYWL@/U 2019年: R10 Meet@メルボルン、国内イベントへの各支部追加参加旅費支援
② 支出合計	19,956,581	29,923,957	26,223,828	30,930,666	

③ 収入-支出 (③=①-②)	7,674,311	-3,360,761	2,062,494	-3,804,021	
-----------------	-----------	------------	-----------	------------	--

④ 前年度からの繰越金	13,065,052	20,739,363	20,739,363	22,801,857	
⑤ 次年度への繰越金 (活動基準) (③+④)	20,739,363	17,378,602	22,801,857	18,997,836	繰越金を除く繰越金は7,500 (千円) を目安とする ⇒ラウンドアップ150万/月×4ヵ月=600万(～Rebate支払まで)

【積立金】 記念イベントに使用

(支出) 支部記念イベント支援	2,349,971	300,000	300,000	0	
⑥前年度からの繰越金	13,993,310	11,643,339	11,643,339	11,343,339	
⑦次年度への繰越金 (総額 活動基準)	11,643,339	11,343,339	11,343,339	11,343,339	

【総計】

単年の総収支	5,324,340	-3,660,761	1,762,494	-3,804,021	
前年度からの繰越金	27,058,362	32,382,702	32,382,702	34,145,196	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) ⑤+⑦	32,382,702	28,721,941	34,145,196	30,341,175	
(内訳) ⑤ 普通+小口+CB	20,739,363	17,378,602	22,801,857	18,997,836	
(内訳) ⑦ 積立金 (定期)	11,643,339	11,343,339	11,343,339	11,343,339	

2017年 各支部 活動費・繰越金・Section支援費

単位:千円

(2017年決算)	札幌	仙台	信越	東京	名古屋	(※2) 関西	四国	広島	(※3) 福岡	(積立金除く) JC
A) 2016年からの繰越金	1,596	1,785	1,356	6,702	2,090	3,475	2,342	1,237	4,306	13,065
B) 2017年間活動費(※1)	473	743	691	4,862	2,173	2,303	437	484	766	17,101 うち名古屋MAW320
C) 2018年への繰越金	1,545	1,816	1,056	7,264	1,004	2,914	2,285	1,336	4,276	20,739
2017年度 繰越金増減 C)-A)	-51	31	-300	562	-1,086	-561	-57	99	-30	7,674

2018年 各支部 年度末予測

	札幌	仙台	信越	東京	名古屋	(※3) 関西	四国	広島	福岡	JC
D) 2018 年間活動費(※1)	353	1,057	944	6,416	1,221	1,816	540	1,853	1,475	21,725 うちMAW福岡 593
参考) 2017年活動費との 増減額 D)-B)	-120	314	253	1,554	-952	-487	103	1,369	709	4,624
E) 2018 年度末繰越金予測 (2019年への繰越金)	1,638	1,671	972	6,957	1,074	3,161	2,186	712	4,202	22,802
2018年度 繰越金増減予 測 E)-C)	93	-145	-84	-307	70	247	-99	-624	-74	2,063
Section支援費 (周年記念・MAWは除く)	0	120	177	0	146	280	0	175	0	

2019年 各支部予算

	札幌	仙台	信越	東京	名古屋	(※4) 関西	四国	広島	(※5) 福岡	JC
F) 2019 年間活動費(※1)	545	2,806	410	5,947	1,404	3,256	570	1,438	1,090	25,418 うちMAW仙台 800
参考) 2018年活動費との 増減額 F)-D)	192	1,749	-534	-469	183	1,440	30	-415	-385	3,693
G) 2019 年度末繰越金	1,548	584	958	6,660	1,004	2,221	2,009	551	4,038	18,998
2019年度 繰越金増減予 測 G)-E)	-90	-1,087	-14	-297	-70	-940	-177	-161	-164	-3,804
繰越金/年間活動費 (G÷F)	2.8	0.2	2.3	1.1	0.7	0.7	3.5	0.4	3.7	0.7
Section支援費希望額 (周年記念・MAWは除く)	0	150	0	0	238	508	0	100	0	

※1) 年間活動費について

支部: 支出から、SA拠出金・Chapter Rebate、を除いた活動費と事務経費の合計概算額

但し周年記念イベント費は除く

JC: 支部へのSection支援費・SA還元、Chapter Rebate(本部から受領→各Chapterへ送金)を除いた活動費と事務経費の合計概算額

Chapter支援費(JC COC分配の支援費)および MAW支援費は含む。周年イベント支援は積立金支出のため除く。

※2) 関西支部HISTELCON貸付返済分(500)除く

※3) 福岡支部 国際会議貸付/戻入分(15年貸付17年戻入500 /19年予算貸付1,500) Milestoneプラーク立替(423) は活動費・繰越金共に控除

MAW2018開催費用(616)含む

※4) 仙台支部 2019年 MAW開催費用 800(JCへ支援依頼)含む